

# 憲法記念日

## 私はこう思う

# 平和が いちばん

2018年5月3日 発行



[左上]2017年11月3日  
大阪市中之島公園

[左下]2018年4月1日  
枚方市民会館

[右上・下]2018年4月  
14日 国会正門前

### 安倍9条改憲は許さない

手塚 隆寛（枚方市議会議員）

憲法前文は「政府の行為によって再び戦争の惨禍起こることのないようにすることを決意」している。

安倍首相は朝鮮民主主義人民共和国の核、ミサイル実験を利用して、自衛隊の増強、9条改憲で戦争ができる国づくりを進めてきた。4月27日、韓国と朝鮮の歴史的な首脳会談が行われ、朝鮮戦争の終結、朝鮮半島の非核化、平和の動きが前進した。対話を拒否し制裁一辺倒の安倍首相こそが、東アジアの平和への障害物であることも明白になった。

文書隠し、改ざん ごまかし 開き直りの安倍内閣の支持率は減り続け30%を下回っている。国民の怒りは大きい。

安倍内閣を退陣させ改憲を許さないことは、私たち市民のアジアの人々への責任でもある。朝鮮、韓国 中国など東アジアの人々と手を結べば平和への動きを加速したい。

### 安倍政権の終焉が見えてきた

松田 久子

（「すずらんの集い」代表）

今年の憲法記念日は、南北朝鮮や米朝の対話が行われる中で迎えます。昨年と大違いの情勢です。しかし変わらないのが安倍政権の情勢認識です。未だに緊張緩和に逆行する圧力のみへの対応です。しかし憲法9条改憲の「説得力」(=言い訳)は色あせてきています。ウソつき・隠蔽政権の安倍内閣は即刻辞めさせ改憲の動きもろともストップさせたい。

韓国の大統領、朴クネを倒した韓国ろうそく革命。日本ではあまり知る機会がないですがその底流にはサード(高高度ミサイル防衛システム)反対闘争や反原発運動があります。

日本の改憲の動きは韓国の人々にも脅威を持って注視されています。韓国の運動の息吹を感じ学ぶために5月3日から6日まで韓国連帯ツアーに参加します。国際連帯の思いを共有し、今後の活動に生かしていきます。

## 【憲法ってなんだろう？】

澄海

【憲法】って言葉をよく聞くのに 【憲法】って何か正直わからない

【日本国憲法】って『日本で暮らす中で守らなければいけない最低限のルール』って事なのだろうか？

じゃあ、なぜ【憲法9条】があるのに お偉い政治家の人たちは 自衛隊を戦地へ派遣するのだろうか？

【憲法25条】があるのに なぜ経済的に生活に困る人や就職できない若者がいるのだろうか？

学生時代に【憲法】は試験に出されるから必死に覚えた

それも、事前に先生が出題すると言われたものだけ

【憲法】の意味も深く考えることもなかった

ただ 今でも覚えているのは『日本は9条があるから戦争しない 平和の国なんだ』と先生が言っていた

私が小学5年生の時の担任の先生が『PKO 反対のため駅前を歩いた みんなを戦争に行かせない』と ホームルームの時間に話してくれたことを覚えてる

その時は なぜ先生は歩いたのか？と思っただけで深く考えなかった

今 私は【憲法9条】に【自衛隊】を記載しないように署名を集めている

【わが子も 誰の子も戦地に行かしたくない】【みんな誰かの大切な人だから】という気持ちで出来る範囲でやっている

【自衛隊】は災害救助隊 遭難者などの捜索隊だと思っている

武器を構えて 誰かの前に立つことも その人の命によって守られる平和も本当の平和ではないと思っている

あの小学生の時の担任の先生は『こんな気持ちだったのか』と今になって思う

私が小学生の時に大人たちが行動してくれた平和への思いは 私たちへと受け継がれているのだと思った

でも 私は この平和への行動を私たちの時代で終わらせたいと思う

自分の子どもやその世代に 平和を願って署名を集める事が必要のない時代であって欲しいと心から思う

【日本は対話で外交を広げ 多くの国と人々と結び付き 助け合い みんな笑顔で暮らせる国】だと 次世代に引き継げていくことが私たち世代のやるべきことなんだと思う

## 9条改憲は憲法前文の意味まで不明にする

柳井 直躬

憲法を論議することは自由です。しかし護らなければならぬものでもある。9条に自衛隊を書き込むことで、第2章の表題である「戦争の放棄」はどうなるのでしょうか。第2章は9条だけです。

日本国憲法に1年先行した国連憲章では防衛権を認めているが、日本国憲法では国の交戦権をも否認するとまで進化しているのです。

そもそも日本国憲法前文には人類の恒久平和を願い、世界中の人々の公正と信義を信頼することで平和を維持する日本国民の誓いが述べられている。この世界に向けた誓いを発したのは日本国民そのものです。あなたはいまも日本国民なのです。

交戦するはずがないのに戦力は要らない。自衛権を持つことは意見です。

## 憲法改正案に

思うこと

梅澤 幸子

敗戦から72年。過去の国家権力の失敗を繰り返さない、子供たちを戦禍に巻き込ませない為にも、自衛隊を明記する事は、絶対に許してはいけない。

現日本国憲法が、私達国民の基本的な人権、平和な暮らしを守っている。これを絶対変えさせてはいけないと思っている。

## 今こそ必要「日本国憲法」 南北会議に拍手を！

### 憲法9条でアジアの平和を！

大田 幸世

「日本国民は、恒久の平和を念願し、人間相互の関係を支配する崇高な理想を深く自覚するのであつて、平和を愛する諸国民の公正と信義に信頼して、われらの安全と生存を保持しようと決意した」（日本国憲法前文）日本国憲法は、「国家」ではなく「国民」の意思を表している。

韓国の朴槿恵大統領を退陣に追い込んだ、100万人規模のローソクデモ。その息吹は、現在も続いている。無数の民衆の力が「政治」を動かし、崇高な理想の社会をつくりだす。

「平和がいちばん」を片手に地域訪問をはじめた。戦争を経験した方、子育て中の方たちに出会い会話する中で、民衆の地道な謙虚さに裏付けされた「平和・人権への思い」に民衆の一人として、力強さを感じている。

この力に依拠した「日本国憲法」を、いまこそ生かしたいと思う。

## 例年がない「憲法記念日」

駒木根 淑子

「安倍9条改憲NO! 3000万人全国統一署名」運動に「戸別訪問」が導入された。初めての対話から1筆1筆が積み上げられていく。その重みを強烈に印象付けてくれた例を紹介します。

ある子沢山の母親が「子供のために戦争はアカン。子供の分も書いておきます！」と1筆1筆名前を記入された。その姿と強い意志は感動的でした。

91才の老婦人の話。女学生の時、福井で空襲を体験した。学校も焼失し、卒業証明の入手も難しい状況で、看護専門学校に入学。その空襲では機銃掃射する米軍兵士の顔が見えるほどだったという。今は目も足も不自由になった。介護保険料が上がる一方、その質は低下。日々の生活から今の情勢をよく認識されていた。

また、国際結婚をした女性の話。夫は「ロシア人とイラン人のハーフ」という。署名の主旨は彼女にすぐ伝わった。「国際平和」をどんなに望んでいる人か、そんな想像をかき立てられる出会いだった。

1筆1筆から「個人史」がにじみ出してくるようです。

## 憲法記念日に思う国民の責務

柳下 祥一

戦後日本の最大の財産である平和主義の根幹をなす「憲法9条」を、戦争が出来る国に変えようとする動きがますます進行している。

しかしそのあまりに雑で稚拙で歴史に学ぼうとしない考えは決して容認できない。

世界中には、戦乱や圧政に苦しむ難民や少数民族はいまだ沢山存在し、戦争の悲劇はますます強まっている。

「国際協調による新世界秩序」が云々される現在、隣国北朝鮮からも相手にされず、内政面でもお粗末騒動続きの現政権には、明日はない。

「国民は民度以上の政府を持ってない」とも言う。我々国民は、スマホやオリンピック、カジノにとられることなく、常に民度アップの心構えを持ち、憲法9条改憲NO! 安倍政権NO! の姿勢を明らかにせねばならないと考える。

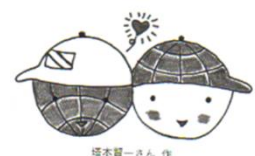
これが「我々国民の責務」ではないか。

**会員を募集しています** - 年会費 2000 円

郵便振替 口座番号 0094-3-192938

加入者名 平和な枚方をつくる市民の会

**配達員も募集しています** - スタッフに声をかけて下さい



## どの国の子も殺すな！自衛隊員も死ぬな！

黒田 薫

昨年の枚方夏祭りで、自衛隊の車両が展示された。自衛隊は市民に向けては災害救助の顔しか見せず支持を得ようとしている。しかし、自衛隊の本務は戦争をすることなのだ。横須賀や呉の軍港に行くと灰色の戦艦や潜水艦、ときにはアメリカの原子力空母までずらっと並んでいる。日本の軍事費は5兆円近い。(これだけのお金があれば子ども、学校、お年寄りなどへの施策がどんなに充実するだろうか)

そして、憲法9条を変えると自衛隊は大っぴらに海外へ出て行って人を殺すことになる。当然、日本も攻撃される。地球上で生命ほど尊いものはないのに。戦争は嫌や！今こそ憲法9条改悪反対を一人一人が声に出したい。どの国の子も殺すな！自衛隊員も死ぬな！と。この国の行き先を決めるのは公文書改竄までさせて森友学園・加計学園を優遇した首相ではなく、主権者の私たちなのだから。

## 憲法記念日に寄せて

松下 駿三

財務・防衛や内閣府官僚たちを含め安倍長期政権の底なしの腐敗により、憲法改正(悪)は若干遠のいているものの、自民党は結党以来の悲願であり、避けて通れない憲法改正(=改悪)攻撃が早晚課題となる。

問題は便乗改革(公明・維新ら)をも視野に入れ、焦点をはぐらかし、許容できる範囲で国民投票に持ち込んでくること。

この妥協の産物として提案されるもの=国会発議は権力の利害を貫徹し、勝算ありと踏まえるがゆえに提案されてこよう。

改悪の根幹は「戦争のできる国家の創世」にほかならない。

したがってそれ(ら)を阻止するために、まずは安倍政権の退陣が前提であり、広範な統一戦線を構築することであり、少なくとも選挙闘争そのものではあるまい。

圧倒的に広範な労働者・市民組織の闘う部隊の構築と、改悪を許さない横断的な戦線の形成が今何より大切のように思います。ともにスクラムを組みましょう。

安倍政権に  
憲法さわる  
資格なし

## 改憲は何を目指しているのだろう

—今ならまだ間に合う

小倉百合子

なぜ暮らしの中の感覚と政治がこんなにかげ離れているのだろう。日常生活で私は人に拳を上げることはしないし人に微笑めば同じようにほほ笑みが返ってくることも知っている。これが国のレベルになると話は違ってくる。他国の脅威に武装で備えなければならぬし他国が起こした戦争には馳せ参じなければならぬと国は声高に唱える。ハンナ・アーレントの政治の捉え方は独特である。彼女は「政治」は人々が話し合いをし世界を形作ることであるとする。そして一切の支配被支配関係と暴力を拒絶する。そのような「政治」を行うために個人のプライバシーは徹底して尊重されなくてはならないと言う。そして居場所を奪われ根こぎにされた個人は容易に全体主義へと流されていくと強く警鐘を鳴らす。今の自民党の改憲は何を目指しているのだろう。その草案に私は戦慄を感じる。立憲主義をないがしろにし平和主義を壊し人権を奪う。アーレントの唱えている「政治」の対極である。私たちは過去に人々が根こぎにされ全体主義の流れに抗えず戦争へと駆り立てられた経験を持つ。その末に奪い奪われた何百万の命があった苦い教訓を決して忘れてはいけない。今ならまだ間に合う。そう願わずにはいられない。

## 働く・働ける ということ

大田 英俊

「就職活動 自衛隊」のワードでネットを検索すると、リクナビなどの就職活動サイトがヒットする。大卒・幹部職 - 初年度月収例・22万円程度、勤務時間8時15分～17時まで、なのだから。

働き方改革で言われる『一億総活躍社会』は、自衛隊がいわゆる普通の職場である、というイメージを作る戦略の側面もあるのではないかと、思ってしまう。

自衛隊の現場は、ブラック企業以上の過酷な環境であることは容易に想像がつくが、溢れる情報に惑わされず、職業選択の自由を享受できる国であることに感謝する感性を、子供たちには持って欲しいと願う。

## 「必要最小限の自衛力の危うさ」

井上 浩

自衛隊は、必要最小限の自衛力で戦力に至らない自衛力で、憲法9条の戦力に該当しないというのが政府見解です。憲法に書いてないけれど国家というものは当然国家の自然権として、国家の防衛のための自衛権があり（法理的には間違い）、自衛権だから何か力がなければダメであり、それが自衛力だと言うのです。そして必要最小限の自衛力は戦力に該当しないとする。その必要最小限の自衛力はどのように基準を決まるかと言えば、その時々軍事力の状況によって決まる。今は核兵器の時代だから必要最小限の核兵器は必要最小限の自衛力に該当し、必要最小限の核兵器は持てるというのが政府の見解です。だから必要最小限と言っても歯止めがないはレトリックなのです。

## 『教育の無償化』のために憲法かえる？ 手塚 美子

真っ赤なウソ

日本の教育予算 国家予算の8%、世界で37位

軍事予算(2018) 5.2兆円 5%以上 世界8位

6年間増え続け

軍事費削って教育費増やせ



## わたしは思う

田中 祥二・田中 栄子

<戦が始まれば避難しかないはずだが>

よく故障するけど対戦車ヘリが装備されているということは、地上には侵略者の戦車があるという想定ですか。

そのとき、人々はどこへ避難しているのでしょうか

侵略船が港へ入って来たら、まず避難しましょう。

でも、その時の避難場所がどこかを教えてもらっていません。

ミサイルが飛んで来たら頭を抱えてそれから先はどうしたらいいのでしょうか。

<自衛隊とは>

「自衛隊は災害救助・復旧活動に必要です」

「そういう自衛隊の組織を兵站部隊といいます」

「兵站部隊があれば戦時でも私たちに助けてくれるので安心です」

「戦時となれば、兵站部隊は戦闘部隊の支援・援助専門部隊となるので皆さまの救助活動は行いません」

「それでは、戦時には私たちは誰が助けてくれるのですか」

「安倍さんはビルに隠れて頭を抱えることを勧めています」

## ペシャワール会

鈴木めぐみ

福岡にある小さな団体「ペシャワール会」は医師の中村哲さんの活動を支えるため募金活動を続けてきた。その中村哲さんは長年アフガニスタンの地において医療のみならず農業・灌漑事業・食料問題に実に適確に働き、多くの日本人ワーカーが丸腰で現地に入り働き続けている。世界中のボランティア団体がアフガンに入ったが、時が過ぎるとどんどん撤退していく中、ペシャワール会は必要とされるところどこにでも行き働く。徹底して現地を根をおろし活動している。「日本は軍隊を持たないで戦争をしない国」だと誰もが思っていて、大変尊敬されていることを、中村さんは大切にしている。

ペシャワール会の働きは真の平和活動だと思う。その中村哲さんがアフガニスタンから勲章を受けられた。『我国の兄弟国である日本国出身でPMS（ペシャワール会）の代表である中村哲医師は・・・』と賞状にあった。勲章を受けられたことを心から喜び、今日の憲法の日みなさんに報告します。

## 「脅威」はどこに？

井上 由美

およそ110年前に日本は海を渡って朝鮮を植民地支配した。およそ90年前中国を植民地支配した。朝鮮は植民地支配からの解放闘争の過程で南北に分断された。数え切れない死者と悲劇を生んだ。今に至るも続いている。日本に原爆を落としたアメリカはベトナム侵略で200万人近い人々を殺した。枯葉作戦など生物化学兵器を使用した。また石油の利権を確保するためにアフガニスタン、イラクを武力攻撃し数十万人と言われる人々を殺し、国を破壊し、テロリストを生み出し、今も泥沼状態が続く。北朝鮮（朝鮮民主主義人民共和国）は核実験・ミサイル発射実験を繰り返し核兵器を持とうと必死になった、アメリカからの攻撃を防ぐために。アメリカはすでに完成した核兵器、大量破壊兵器を山ほど持ち、小型核兵器の使用もほのめかす。北朝鮮だけを敵視し危機を煽るのはいったい何なんでしょう？

戦争に邁進した70数年前の過ちを二度とくりかえしてはならない。今、隠蔽と嘘を連発し民主主義を破壊している政治家たちに憲法9条を触らせてはいけない。

## 漢字と憲法

佐藤 謙司

「漢字」の英訳は「Chinese character」で、文字通り訳せば「中国の文字」。言われてみればその通りで、「漢字」とは「中国語を表すため、漢民族の間に発生・発達した表意文字」。その「漢字」を我が祖先達は取り入れ、かな文字にも変化させ「日本語」に変容させたうえで「日本」文化を育ててきたのです。「借り物」から出発して今があるのです。これは新聞のコラムから触発された知識ですが、コラム子は「現憲法は押し付けか？」との問題意識に答えるためにこの「漢字」のルーツを提示しました。「借り物、押し付けで何が悪い」との居直りの論法ですが、私たちは漢字とかなで思考しているように、憲法9条で世界を見渡し続けましょう。

## 平和で豊かな枚方を市民みんなで作る会

共同代表 鈴木めぐみ（親と子のリズム遊び講師）  
奥村 秀二（弁護士）  
おおた幸世（枚方市平和無防備条例を実現する会）  
事務局長 手塚 隆寛（枚方市会議員）  
事務局次長 松田 久子（「すずらんの集い」代表）

〒573-0027 枚方市大垣内町2丁目8-27 シンエービル別館A  
市民の広場“ひこばえ” TEL&FAX：072-846-8780

メールアドレス：[hiratkatasiminnokai@yahoo.co.jp](mailto:hiratkatasiminnokai@yahoo.co.jp)  
ホームページURL：<http://hiratkatasiminnokai.jimdo.com/>

『平和がいちばん』は市民がつくる月刊紙です 購読ご希望の方はご連絡ください